

設計図書の照査要領

平成21年5月

神戸市

目次

築堤護岸工事	3
道路改良(舗装)工事	6
橋梁下部工事	9
橋梁上部工事	12

築堤護岸工事照査要領

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	設計基本条件	<ul style="list-style-type: none"> 1) 締切水位は決定しているか、又は水文資料はあるか。 2) 瀬替、水着時流量決定のための、水文資料等はあるか。 		
	施工上の基本条件	<ul style="list-style-type: none"> 1) 運搬路、切廻し河道、ヤード確保の見通しはあるか。 		
	関連機関との調整	<ul style="list-style-type: none"> 1) 他の工作物管理者との調整は済んでいるか。 2) 地権者及び地元等との調整は済んでいるか。 3) 占用者との調整は済んでいるか。 		
	資料の確認	<ul style="list-style-type: none"> 1) 測量成果(平面、横断、縦断)は整理されているか。 2) 地質調査報告書は整理されているか。 追加ボーリングは必要ないか。 軟弱地盤の判定に必要な資料はあるか。 (圧密沈下、液状化、地盤支持力、法面安定、側方移動等) 3) 用排水路系統図は整理されているか。 		
	地盤条件	<ul style="list-style-type: none"> 1) 追加調査の必要はないか。 		
	地形条件	<ul style="list-style-type: none"> 1) 用地境界を確認したか。 		
	施工条件	<ul style="list-style-type: none"> 1) 施工上の制約条件を確認したか。 (スペース、交通条件、水の切廻し) 2) 工事時期を確認したか。 		
	現地踏査	<ul style="list-style-type: none"> 1) 支障物件の状況を把握したか。 		
	資料の確認	<ul style="list-style-type: none"> 1) 貸与資料の不足点、追加事項があるか。 		
	設計図	<ul style="list-style-type: none"> 1) 平面図には必要な工事内容が明示されているか。 (法線、築堤護岸、付属構造物等) 2) 構造物の基本寸法、高さ関係は照合されているか。 3) 形状寸法、使用材料及びその配置は計算書と一致しているか。 		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	<p>数量計算書</p>	<p>4) 構造詳細は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 5) 解り易い注記が付いているか。 6) 水位等設計条件が図面に明示されているか。 7) 図面が明瞭に描かれているか。 (構造物と寸法線の使い分けがなされているか) 8) 各設計図がお互いに整合されているか。 ・ 一般平面図と縦断図 ・ 構造図と配筋図 ・ 構造図と仮設図 9) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか) ・ 壁厚 ・ 鉄筋(径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、ガス圧接位置) ・ 鋼材形状、寸法 ・ 使用材料</p> <p>1) 数量計算は、数量算出要領と整合しているか。 2) 数量計算に用いた寸法は図面と一致するか。 3) 数量とりまめは種類毎、材料毎の打合せ区分に合わせてまとめられているか。 4) 横断面図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているか。</p>		

道路改良（舗装）工事照査要領

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確認資料	備 考
	<p>施工上の留意点 関連機関との調整及び協議関連資料の整理</p>	<p>1) 施工上の留意点があるか。 1) 交差協議の調整が済んでいるか。(道路、河川、鉄道、公安委員会、等) 2) 地元及び地権者との調整が済んでいるか。 3) バス路線となるかどうか。 4) 水路管理者との協議は済んでいるか。 5) 地下占有企業者との調整が済んでいるか。 6) 保安林及び埋蔵文化財等との調整が済んでいるか。 7) 各都道府県公害防止条例の適用区域及び規制値が明確になっているか。 8) 都市計画及び土地利用が明確になっているか。 9) 上位計画、開発行為及び電線類地中化の計画が明確になっているか。 10) 土砂の処理場または土取場の位置、規模は明確になっているか。 11) 休憩施設、チェーン着脱場等の計画が明確になっているか。</p>		
	貸与資料の確認	<p>1) 地質調査報告書があるか。又、内容は充分か。 2) 測量成果(平面、縦断、横断)があるか。 3) 埋設物台帳があるか。</p>		
	計画条件の確認	<p>1) 排水工の計画条件は確認しているか。 ①排水系統(用水か排水か)及び断面の調査は明確になっているか。 ②水路管理者と協議してあるか。</p>		
	付帯施設の必要性	<p>1) 標識計画はあるか。 2) 照明・信号機(電気設備)は計画されているか。</p>		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確認資料	備 考
	<p>〈平面交差点設計〉 施工上の留意点</p> <p>関連機関との調整及び協議関連資料の整理</p>	<p>1) 施工上の留意点があるか。</p> <p>1) 交差協議の調整が済んでいるか。 (道路、河川、鉄道、公安委員会、等)</p> <p>2) 地元及び地権者との調整が済んでいるか。</p> <p>3) バス路線となるかどうか。</p> <p>4) 地下占有企業者との調整が済んでいるか。</p> <p>5) 保安林及び埋蔵文化財等との調整が済んでいるか。</p> <p>6) 県「環境の保全と創造に関する条例」の適用区域及び規制値が明確になっているか。</p> <p>7) 都市計画及び土地利用が明確になっているか。</p> <p>8) 上位計画、開発行為が明確になっているか。</p> <p>9) 電線類等の地下埋設計画があるか。</p> <p>10) 神戸市バリアフリーマニュアルに整合した計画となっているか。</p>		
	貸与資料の確認	<p>1) 測量成果(平面、縦断、横断)があるか。</p> <p>2) 地質調査報告書があるか。</p> <p>3) 埋設物調査資料があるか。</p>		
	計画条件の確認	<p>1) 用、排水工の計画は明確になっているか。</p>		
	用地条件	<p>1) 用地上の幅杭表はあるか。</p>		
	用地条件	<p>1) 用地中航表はあるか。</p>		
	数量計算	<p>1) 数量計算は、数量算出要領と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等)</p> <p>2) 数量計算に用いた記号、寸法は図面と一致するか。</p>		

橋梁下部工事照査要領

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確認資料	備 考
	<p>施工上の基本条件</p> <p>関連機関との調整</p> <p>貸与資料の確認</p> <p>現地踏査</p> <p>地形条件</p> <p>その他</p>	<p>1) 架設条件は決定しているか。</p> <p>2) 環境対策は決定しているか。</p> <p>3) 運搬路、迂回路、ヤード確保の見通しはあるか。</p> <p>4) 近接構造物の有無に対する確認はおこなったか。</p> <p>1) 河川管理者との調整は済んでいるか。</p> <p>2) 道路管理者との調整は済んでいるか。(工事用道路含む)</p> <p>3) 港湾管理者との調整は済んでいるか。</p> <p>4) 鉄道との調整は済んでいるか。</p> <p>5) 警察との調整は済んでいるか。</p> <p>6) 地元及び地権者との調整は済んでいるか。</p> <p>7) 添架企業者との調整は済んでいるか。</p> <p>8) 公益企業者(埋設占用物件)との調整は済んでいるか。</p> <p>9) 漁業利権者との調整は済んでいるか。</p> <p>1) 地質調査報告書(必要な本数、調査項目)はあるか。</p> <p>2) 測量成果報告書(平面、横断、縦断)はあるか。</p> <p>3) 軟弱地盤の判定に必要な資料(側方移動、液状化、圧密沈下等)はあるか。</p> <p>1) 環境状況(振動、騒音等の配慮)は把握したか。</p> <p>2) 支障物件の状況は把握したか。</p> <p>3) 施工時の注意事項は把握したか。</p> <p>1) 用地境界は確認したか。</p> <p>2) 施工ヤードスペースは確認したか。</p> <p>3) 資機材運搬路は確保できるか。</p> <p>埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が設計計画に反映されているか</p>		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	設計図	<p>1) 一般図には必要な項目が記載されているか。 (設計条件、地質条件、建築限界等)</p> <p>2) 構造図の基本寸法、座標値、高さ関係は照合されているか。</p> <p>3) 各設計図がお互いに整合されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般平面図と縦断図 ・ 構造図と配筋図 ・ 構造図と仮設図 <p>4) 使用材料は明記されているか。</p> <p>5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁厚 ・ 鉄筋(径ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、ガス圧接位置) ・ 鋼材形状寸法 ・ 使用材料 ・ その他 		
	数量計算	<p>1) 数量計算は、数量算出要領と整合しているか。</p> <p>2) 数量計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。</p> <p>3) 数量取りまとは種類毎、材料毎に打合わせ区分に合わせてまとめられているか。</p> <p>4) 橋台の後打ちコンクリートを分離して計上しているか。</p>		

橋梁上部工事照査要領

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	施工上の基本条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 架設条件は決定しているか。 2) 環境対策は決定しているか。 3) 運搬路、迂回路、ヤード確保の見通しはあるか。 4) 近接構造物の有無に対する確認はおこなったか。 		
	関連機関との調整	<ol style="list-style-type: none"> 1) 河川管理者との調整は済んでいるか。 2) 道路管理者との調整は済んでいるか。(工事用道路含む) 3) 港湾管理者との調整は済んでいるか。 4) 鉄道との調整は済んでいるか。 5) 警察との調整は済んでいるか。 6) 地元及び地権者との調整は済んでいるか。 7) 添架企業者との調整は済んでいるか。 8) 公益企業者(埋設占用物件、架空占用物件)との調整は済んでいるか。 9) 漁業利権者との調整は済んでいるか。 		
	貸与資料の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1) 地質調査報告書(必要な本数、調査項目)はあるか。 2) 測量成果報告書(平面、横断、縦断)はあるか。 3) 設計計算書等(下部工、隣接工区等含む)はあるか。 		
	現地踏査	<ol style="list-style-type: none"> 1) 環境状況(振動、騒音等の配慮)は把握したか。 2) 支障物件の状況は把握したか。 3) 施工時の注意事項は把握したか。 		
	地形条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 用地境界は確認したか。 2) 施工ヤードスペースは確認したか。 3) 資機材運搬路は確保できるか。 		
	その他	埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が設計計画に反映されているか。		

照 査 項 目 一 覧 表

No	項 目	主 な 内 容	確 認 資 料	備 考
	設計計算書	<p>1) 使用されている設計基準等は適切か。</p> <p>2) 設計基本条件は適切か。 (荷重条件、施工条件、使用材料と規格、許容応力度等)</p> <p>3) 構造・線形条件は妥当か。 (橋長、支間長、幅員構成、平面・横断線形、座標系等)</p> <p>4) その他(標識、照明、高欄等の付属構造物等)</p> <p>5) 新技術の活用、コスト縮減対策が検討されているか。</p> <p>設計図</p> <p>1) 一般図には必要な項目が記載されているか。 (設計条件、地質条件、建築限界等)</p> <p>2) 構造図の基本寸法、座標値、高さ関係は照合されているか。</p> <p>3) 各設計図がお互いに整合されているか。 ・ 一般平面図と縦断面図(構造一般図と線形図) ・ 構造図と配筋図 ・ 構造図と仮設図 ・ 下部工箱抜き図と付属物図(支承配置図、落橋防止等)</p> <p>4) 使用材料は明記されているか。</p> <p>5) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか)</p> <p>6) 下部工、隣接工区等との整合はとれているか。</p> <p>7) 設計図等に基づいた適正な施工が可能か。 (架設条件が設計図に反映されているか)</p>		
	数量計算	<p>1) 数量計算は、数量算出要領と整合しているか。</p> <p>2) 数量計算に用いた寸法、数値は図面と一致するか。</p> <p>3) 数量取りまとめは、種類毎、材料毎に打合わせ区分に合わせてまとめられているか。</p> <p>4) 橋台の後打ちコンクリートを分離して計上しているか。</p>		